

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日: 2021年 4月 21日

事業所名: こどもプラス別府教室

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	総面積134㎡を要し、1階運動スペース(40㎡)や2階指導訓練室(28㎡)相談室(13㎡)など、1階1室2階3室プラス事務所の計5部屋を用意しており、運動はもちろん、個別療育目的にスペースを十分に確保。より小集団や個別指導に適した環境です。また、庭もあり、自然に親しむ環境も整っています。	はい-41 どちらともいえない-3 いいえ-0 わからない-2 無回答1 ・室内に運動するスペースが十分にあり、庭もある ・十分確保されています ・子どもが場所が狭いと言っている ・子どもは特に何も言わない	保護者参加の運動会、芸術祭、夏祭りなどの行事を開催予定していましたが、コロナ禍での自粛を余儀なくされ保護者の方々には、実際に確認頂くことが出来ませんでした。連絡帳にて、毎日の運動状況等、写真にて添付しておりますが、実際の広さの確認が難しい状態でした。今後の状況に応じ確認頂ける機会を設けていきます。
	2 職員の適切な配置	人員配置基準の遵守はもとより、より専門性を高める人員配置を行っています。心の発達への支援を中心に、精神科勤務経験のある看護師や精神保健福祉士。公認心理師・保育士など、多職種が多方面からより良い支援を検討し実施しております。	はい-34 どちらともいえない-5 いいえ-0 わからない-7 無回答1 ・子どもから不満を聞かない ・子供からの不満はない ・この上ない専門性で、どの先生方も子を認め高めて下さっていると感じる ・職員の人数を適切だと思えます	専門職員の配置は基より、その専門知識を結集し療育支援にあたっています。各職員の知識を結集しミーティングや研修を重ね療育方法を個別に検討しております。様々な専門知識や経験を活かし、現職員の対応力を高め、様々なケースに最良の療育を目指していきます。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	玄関スロープを設けています。より利用児童にわかりやすい環境を目指し、余計なものは除外し、シンプルな環境ですが、60インチの大画面モニターを設置し、利用児童にわかりやすい説明や画像を提供しています	はい-37 どちらともいえない-3 いいえ-0 わからない-6 無回答1 ・きちんとされています ・同封のプリントを見てそう思った ・同封のプリントにてそう思う	個々の特性をしっかりと捉え、その子に合った環境を整備していきます。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	毎日の掃除は当然の上、共有するものを少なくし、ペーパータオルなどを使用して清潔を保っています。子ども達がリラックスできるよう、広い空間と狭い空間を取り混ぜ状況に応じ安心できる空間を確保しています。	はい-43 どちらともいえない-3 いいえ-0 わからない-0 無回答1 ・無駄なものは置かず整理されている ・きちんと過ごせる空間とされています ・コロナの感染予防にも大変気を配って頂き有難いです ・同封のプリントを見てそう思った ・同封のプリントにてそう思う	コロナ禍での対応に準じ、衛生用品の確保および清掃方法など、看護師を中心に徹底し感染防止に努めています。また、看護師による指導のもと、利用児童も含め認識の向上を図っています
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	毎日のミーティング時に、利用者の状況と本日の目標と支援について話し合い、活発な意見交換を行っています。		今後も推進していきます。
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	現在、外部評価は実施しておりません。		今後実施に向けて検討していきます。
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	社内研修及び社外研修にも積極的に参加しています。特に資質向上のため、毎日ミーティングを行い共通理解を深めています。		今後も推進していきます。
適切な支援の提供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	日々の観察・情報収集と、保護者の方と面談を行いそこから得た情報も含めたニーズや課題を分析し、計画を作成しています。また子供の状態に合わせて適切な時期に計画をそのつど作成しています。	はい-44 どちらともいえない-3 いいえ-0 わからない-0 ・子供の問題に対して介入がある ・子どもの問題・課題に対して介入がある	今後も、利用児童に応じた計画を立案し、より具体的な内容の記載を行っていきます。
	2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	子どもの変化を見落とさず、その子どもに合う状況に応じた個別活動と集団活動(例:運動、コミュニケーション活動、SSTなど)を行い、計画をしています。		今後も、利用児童に応じた計画を立案し、より具体的な内容の記載を行っていきます。
	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	子どもたちが今困っていることや課題、また成長するために必要なことなどを考えて記載しています。また具体的に何が必要かなどを考慮して記載しています。	はい-45 どちらともいえない-1 いいえ-0 わからない-1 ・その子の計画内容によってきちんと支援がされています ・子供の問題に対して介入がある ・子どもの問題・課題に対して介入がある	今後も、利用児童に応じた必要な項目の設定と具体的な支援内容を立案していきます。
	4 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	毎日のミーティングの中では、前はこんな状態であった。そのため今日はこのように計画に沿って支援しようと話し合っています。そのため各一人づつに合わせた計画に沿った支援の実施を行っています。	はい-43 どちらともいえない-1 いいえ-0 わからない-3 ・支援が行われています。 ・コロナ禍で面談の機会が少なかったように思います ・子供の問題に対して介入がある ・子どもの問題・課題に対して介入がある	今後も、利用児童に応じた適切な支援の実行を行っていきます。
	5 チーム全体での活動プログラムの立案	運動は運動保育士を中心に、コミュニケーションや心のケアは看護師、公認心理師、精神保健福祉士、保育士などが中心に、1つのチームで検討し活動プログラムの立案および実施しています。		今後も、利用児童に応じた活動プログラムを立案していきます。
	6 平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	平日は、時間が短くとも運動と学習を集中して行い、休日や長期休暇には、自己決定と個性をより重んじる支援を行っています。平日及び休日を問わず、心のケアに気を配っています。		今後も、利用者の特性に応じたきめ細かな支援をしていきます。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
適切な支援の提供(続き)	7 活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	月間カレンダーにより活動プログラムを作成し、毎日担当者を変えながら、固定化しないようにしています。また運動・医療知識・手話・絵本読み・音楽・創作活動・料理など、職員の得意な分野での活動も行い工夫をしています。	はい-44 どちらともいえない-2 いいえ-0 わからない-1 ・多様なプログラムをいつも考えて下さっている ・色々なプログラムが組み込まれています。 ・子供にとっては固定化しつつある ・毎日工夫されたプログラムで楽しいです ・連絡ノートの活動内容や子供からの話により思う ・連絡ノートの活動内容や子供からの話から思う	今後も、より楽しく利用者が参加できるプログラムを意識し、利用者主体の活動プログラムを実施します。
	8 支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	毎日の職員間でのミーティングでは、利用者の詳細な状況や、当日の支援内容及び役割分担について具体的に話し合い、確認の上徹底して支援に臨んでいます		情報収集にも気を配り、今後も継続します。
	9 支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	支援終了後、経過記録記入時に、振り返りと情報の共有を行っている。		今後も継続します。
	10 日々の支援に関しての正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	日々の支援について実際に起きた事象を、正確に記録することを日々徹底しています。また支援の検証・改善の継続については、支援終了時やミーティング時などで話し合い継続実施をおこなっています。		今後も継続します。
	11 定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	定期的なモニタリングは面談という形で、自宅訪問または教室内で実施し、計画・計画の見直しを行っています。また個別に必要である場合は、そのつど計画の見直しを行っています。 今年度は、コロナの関係で電話という形も取り入れています		今後も継続します。
関係機関との連携	1 子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議へ参画	担当者会議には、必ず出席するようにしています。		子どもの状況の把握の為、病院受診時に同行する等、医療的情報の獲得や医療連携に努めています。 担当者会議は、利用児童の多くの情報と支援の方向性が見えてくるので、積極的に参加します。
	2 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	現在行っていません		
	3 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	現在行っていません		
	4 児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	児童発達支援事業は行っていません。		
	5 放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供、	該当者なし		該当者があった場合、十分な情報提供を行います。
	6 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	病院や療育センターなど専門機関に保護者・利用者が受診する際に同行し、医師や専門職との連携を積極的に行っています。また専門機関での研修にも積極的に受講しています。		今後も継続します。
	7 児等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	交流は行えていません。 芸術祭や、夏祭りなどの行事に際し、家族やお友達家族等との交流を予定しましたが、今年は、コロナ禍による自粛を行い、子供たちだけで開催しました。	はい-15 どちらともいえない-3 いいえ-14 わからない-13 無回答2 ・学校でも交流学級で友達と会話と一緒に授業するなど様々な活動をする機会があります ・コロナでできない ・コロナなのでどうしようもないと思います ・情報が無い	今後の状況に応じ、機会の創出を検討していきます。
	8 事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	実施していません		保護者の中には、親戚や近所にも障害について知られたくない方もおられ、慎重に行う必要があります。
1 支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	重要事項説明書により、丁寧に説明しています。また、報酬改定など変更時も書類により説明し、確認署名を頂いています。また、保護者来室時や送迎時に説明しています。	はい-42 どちらともいえない-3 いいえ-0 わからない-2 ・丁寧な説明をされています。 ・書類にて確認した	今後も、都度丁寧にお伝えします。	

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
保護者への説明責・連携支援	2	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	面談時になどに、説明を行っています。 今年、コロナ禍での対応として、面談や電話やビデオ通話にての対応とないました。	はい-43 どちらともいえない-4 いいえ-0 わからない-0 ・分かりません ・面談で毎年なされている ・毎年面談でなされている	今後も、都度丁寧にお伝えします。
	3	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	ペアレントトレーニングは現在行っていませんが、保護者の対応力の向上を図るため、連絡帳による相談や、電話及び訪問相談に応じて支援しています。	はい-28 どちらともいえない-10 いいえ-3 わからない-6 ・色々行われています。 ・コロナがなかったらいろいろありそうですが…。連絡帳でのアドバイスはとても助かっています ・こちらからの相談に対してアドバイスや傾聴がある	今後、コロナ禍の対応として、ビデオ会議方式やビデオ研修などを検討していきます。
	4	子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	子どもの状況を捉え、都度、送迎時や連絡帳、電話などを通じて、保護者との共通理解を徹底しています。	はい-45 どちらともいえない-2 いいえ-0 わからない-0 ・日頃のこどもの状況を丁寧に説明されています ・毎日の様子について、コメント頂き有難うございます ・連絡ノートやこどもプラスさんからの声掛けにてそう思う	今後も、徹底します。
	5	保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	子どもの変化を捉え、保護者への悩みの問かけや、保護者からの相談に都度対応及び助言を実施しています。	はい-36 どちらともいえない-8 いいえ-1 わからない-2 ・モニタリングは全員に声掛けしていますか？声かかるのが遅く感じました。あることを知りませんでした ・助言等のアドバイスを拝見して参考に家でも実行しています ・去年今年では少なかったため電話やZOOMで連絡取れると助かります。 ・毎日の様子について、コメント頂き有難うございます ・連絡ノートやこどもプラスさんからの声掛けにてそう思う	今後も、継続します。
	6	父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	コロナ禍において、現在の実施はできませんでした。	はい-13 どちらともいえない-11 いいえ-13 わからない-10 ・コロナ禍でなかなか機会が設けられない ・本来なら、講演会と保護者会を開催されていたであろうが、コロナ禍で実施できなかったと思われる ・活動がまた始まるのを心待ちにしています。 ・わかりません ・コロナ禍の影響の為仕方ないとは思いますが ・リアル難しければZOOM交流会などがあると嬉しいです ・緊急事態宣言の中保護者会は難しいと思います。最近ではコロナ感染者は下げ止まり状態です。その中で人数制限をして環境を整え感染防止対策を徹底し勉強会を行う団体や事業所が増えてきました。また、集まるのが難しいようであればオンラインを使つて色々な方法でされています。こどもプラスでも検討されてはどうでしょうか。また、こどもプラス別府教室の見学も楽しみにしています。日程を設定し、1回の人数も決め募集するか、支援会議や計画の見直し時に前もって別府教室の見学も行えます。と伝えておくと保護者の方も余裕をもって来所されると思います。(一日のスケジュールが立てやすいです)例)別府教室で勉強会を行う。実際、実施した後、2・3日は感染者が出ていないか緊張感があり無責任なこととは言えませんが、しばらく現状が続きますので、今後どうしていくか考える時期が来たのかもしれないね(自分自身にもいえますが…) ・しかし、コロナにより保護者はイベントに参加できませんでした ・コロナ禍なので仕方ないです	参加しやすい場の提供と保護者支援や専門性のある助言や研修を実施します。また、保護者間の交流を目的とした茶話会等企画していきます。 コロナ禍の対応としてビデオ会議方式やビデオ研修を利用して開催を検討していきます。
	7	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	苦情があった場合、苦情マニュアルに基づき真摯に対応します。	はい-36 どちらともいえない-2 いいえ-1 わからない-9 ・苦情がないと思われるので、わからない。コロナ対策に関しては随時見直して下さり対策、方針を詳細に発信して下さっている。 ・説明や苦情など適切な対応をされています ・特に苦情等の対応が必要な時もないので。 ・こちらからの苦情は出したことがない	迅速かつ適切な対応をします。
	8	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	個々の状況に応じ、最善の方法と配慮に心がけ対応します。	はい-42 どちらともいえない-4 いいえ-0 わからない-1 ・配慮されています ・いつも声掛けして下さっている	今後も、配慮します。
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	毎月、行事予定や会報を発行し情報発信しています。会報の内容は、プログラム内容の結果や写真、イベント情報や感染予防など、その時々に必要な情報や児童に読み聞かせしている絵本特集など。	はい-37 どちらともいえない-4 いいえ-0 わからない-6 ・毎日活動予定や絵本紹介を下さり、利用日には写真付きで活動の詳細や活動の成果などを教えて下さる。 ・前もって予定表など渡してくれたりしています。 ・紙面上ではよく拝見しています。ホームページではよくわかりませんでした ・毎月封筒にて確認している	今後も、継続します。 ホームページについては、今後の検討課題とし、さらにわかり易いホームページの作成を行います。
	10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	個人情報については細心の注意を払っています。	はい-44 どちらともいえない-1 いいえ-0 わからない-2 ・きちんとされています ・連絡ノートの写真や本日の様子のコメントからそう思う	今後も、継続します。
	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	対応マニュアルの策定は行っています。来所時には閲覧は可能です。コロナの収束等、環境が整えば保護者会等の場で説明していきます。	はい-41 どちらともいえない-1 いいえ-3 わからない-2 ・避難場所や避難訓練などの説明がありません ・毎月封筒を頂いておりその中の書類にて確認している	今後も、説明の機会を増やしていきます。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
非常時等の対応	2 非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	12月と3月に実施。火災、地震、津波など様々な想定で実施。	はい-42 どちらともいえない-1 いいえ-0 わからない-4 ・必要な訓練などされているのかがわかりません ・子どもが避難訓練に参加している	今後も、継続します。
	3 虐待を防止するための職員研修機会の確保等の適切な対応	研修会を実施するとともに、職員間相互の意識向上を図っています。		今後も、継続します。
	4 やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	病院勤務の経験から、拘束については特に気を配り、職員相互間の行動認識を高めるようにしています。また、保護者には契約時に十分説明し身体拘束がおきないよう事前に対処しています。現在まで身体拘束は一度もありません。		今後も、継続します。
	5 食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	契約時、保護者から書面にて確認しています。		今後も、継続します。
	6 ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	ヒヤリハット記録を作成し、毎日のミーティング時に情報提供、意見交換、解決策などを、全員で行い、徹底しています。		今後も、継続します。
	満足度	1 子どもは通所を楽しみにしているか	ひとり一人が自分の判断で決定することを尊重し、運動、工作、絵画、勉強、などの得意なことをひきのばすよう支援しています。楽しく通っていただくことが一番大切な事と認識しています。	はい-37 どちらともいえない-7 いいえ-2 わからない-1 ・毎日予定表を見ながら、こどもプラスがある日を楽しみにしています。 ・生活の一部になっている ・心の中ではとても楽しみにしている
2 事業所の支援に満足しているか		子ども達の状況や、家族の方の不安や思いをしっかり受け止め支援をしています。	はい-44 どちらともいえない-3 いいえ-0 わからない-0 ・コロナ禍の中、リモートで子供に関わって下さる柔軟な対応に心から感謝の気持ちでいっぱいです。明石市内に住んでいるので明石にも教室が出来たらいいのになと思いますが、続けて通わせて頂けることに感謝しています ・支援に十分満足です ・行く日はいつも楽しくいっています ・コロナで楽しみが減っている ・いつもありがとうございます ・いつもよくして頂いています ・大満足しています	誰もが相談しやすく、子どもたちの現在および将来において「いきづらさ」を支援していけるよう、本人および家族の方に寄り添っていきます。